



県議会レポート

編集発行：岩手県議会議員 佐藤ケイ子

事務所：北上市青柳町1丁目5-39 TEL0197-72-7548 fax72-7549

自宅：北上市下江釣子16-154-3 (TEL&fax 0197-77-2126) E-mail: keiko-ktkm@poppy.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.sato2007.com/

No.5 2018年(平成30年)1月

ご意見・ご要望等をお聞かせください。今後の政策づくりに生かしてまいります。

ごあいさつ 2018年1月

明けましておめでとうございます。今年もよろしく願います。

★昨年は、「ソニタク」「モリ・カケ」問題で政治不信が増大。民主主義の危機に対し、地域から声をあげていきたいと思っています。

★6月に小原宣良さんが逝去され、大変残念な年でした。宣良さんは笑顔の中にも、強い信念とブレない生き方、平和への並々ならぬ思いをもって活動し、北上平和フォーラムの設立で野党共闘の基礎を築いて下さいました。

★衆院選では、野党共闘が崩れたかに見えましたが、地域では共闘理念が継承されていることも実感しました。選挙は厳しい結果となり、今年、自民党による憲法9条改憲の発議が予想されます。市民と野党の力でストップさせる年にしたいと思います。

★今年は戌年。犬は「勤勉で働き者」、嗅覚に優れ「食べ物に困らない」「道に迷わない」そうです。犬のようにまじめに、確実に前進する年にしていきたいと思っています。一層のご支援をお願い申し上げます。



県議会一般質問

(平29年6月議会)

1 若者の県内定着を

- ①若者の県内就職率向上にむけ、「いわてで働こう総合イベント」をおかえりいわてツアー」が実施されているが、県内企業の情報発信を積極的に行う。
- ②若手で暮らす実質的な豊かさを、住環境・通勤時間・子育て環境等を所得換算したPRを。
- ③新たな奨学金返還助成制度の創設で対象者拡大を。

2 生涯未婚対策の取組は

- ①男性の生涯未婚率が全国平均より高いのは、雇用環境にも課題があるのではないかと。官民一体で待遇改善の取り組みを。
- ②10月新設の県南「いきいき岩手」結婚サポートセンター(「サポ」)の体制強化を。

3 県職員の労働環境改善を

- ①働き方改革の推進を(各職場で「イクボス宣言」をしたが、具体的な改革を)
- ②欠員(90人以上)改善を。(獣医師、保健師、建築士など恒常的な人員不足改善を)
- ③超過勤務の縮減対策(平28年度は大震災時以上の増加だった。改善を)
- ④非正規職員の待遇改善を(制度改正にあたり任用の適正化と勤務条件の確保を)
- ⑤教員の長時間勤務改善を(教職員の超勤把握に県教委の指導性を。クラブ活動の負担軽減を)

4 子どもの貧困対策の取組を

- ①「子どもの貧困対策推進計画」の具体化と踏み込んだ事業展開を。
- ②実態把握がなく事業の切迫感が不足している。まず全県の実態調査を。
- ③入学準備金の入学前支給を県内全域に。市町村への財政支援を。

5 介護保険制度について

- ①自己負担割合の増加による介護サービス利用抑制問題。
- ②市町村総合事業の実施状況と課題。
- ③介護人材確保策(キャリア支援員、修学資金貸付、再就職準備金等)の効果は。

6 国民健康保険の統合課題

- ①保険料と医療環境の不公平感がある。保険料の激変緩和を。
- ②標準保険料率の決定スケジュールの前進を。
- ③国保の制度改革による、国保連の役割認識は。

7 農業振興について

- ①種子法が廃止されるが、稲・麦・大豆等の優良種子の安定供給は本県農業の基本課題である。今後主体的な種子研究と供給を。
- ②耕作放棄地の再生について、知事裁定制度の活用や、農業委員会等の関係団体と連携した対策を。
- ③青年就農給付金の活用と共に、技術指導、経営計画の作成や複式簿記の習得など、経営確立の支援を。

子どもの貧困調査を

佐藤 ケイ子氏
(改革岩手)



一 新卒者の県内定着率向上にどう取り組む。
達増知事 首都圏在住の学生らを対象とする企業との交流事業「おかえりいわてツアー」や、働き方改革に意欲的に取り組む企業を専門的に支援するコンサル

タレント事業などに新たに取り組み。
一 子どもの貧困の実態調査を実施し対策を講じるべきだ。
八重樫幸治保健福祉部長 新たに設置する庁内関係部署の連携連絡調整会議で、他県の例を参考にしながら調査項目や調査方法などに関する検討を行う。

県政報告会&「新春のつどい」のご案内

と き：平成30年 2月18日(日) 午後4時
ところ：ホテルシティプラザ北上
日 程：午後3時～ 後援会総会
午後4時～ 県政報告会&新春のつどい
会 費：3,000円

お席の準備の都合上、参加連絡をお願いします。
連絡先(事務所) TEL0197-72-7548 FAX72-7549
皆さまのご参加をお待ちしております

県議会傍聴感想記

素晴らしい成績で初当選し、皆で喜び合ってから2年。今回で三回目の登壇の機会を頂いたそうです。30分の持ち時間に堂々と七項目の質問をしておりました。

私は「生涯未婚対策」に関心がありました。雇用環境改善の取り組みや、i(あい)サポの運営なども重要ですが、一番本人の意識が大切なのは…、と思いました。答弁はスラスラと読み上げられ、あまり頭に入りませんでした。

今までは宣良さんが帰りの車中で解説されていたが、市議の平野さんがその役を務めてくれました。もりおか歴史文化会館の見学おまけ付き。一行はなごやかに行動を共にすることができました。

(N・T子)

初めて夫婦で傍聴ツアーに参加しました。ケイ子さんは子供の貧困や農業振興など7項目について質問。堂々と雄弁をふるう姿に同級生として頼もしく思いました。知事をはじめとする答弁にすかさず再質問し、ケイ子さんの熱心な姿勢に傍聴席から「ガンバレ!」と無言エールを送りました。

その後、議事堂玄関前で集合写真。その時のケイ子さんの笑顔に私たちの緊張も解け、帰りのバスは県議会談義となりました。今回は貴重な体験をさせていただき、また参加したいと思いながら、もっとたくさんの方に関心を持ってもらいたいと感じました。

(O・T男)

東大宇宙線研究所「スーパーカミオカンデ」を訪問。旧神岡鉱山の坑道を活用して、世界の大学や研究機関が素粒子の研究をしている。ノーベル賞の梶田教授や小柴教授の基礎研究の拠点で、更に研究が拡大されている。LLCの波及効果は無限大。